

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	●開 会
会長	●会長挨拶
市民生活部長	●部長挨拶 (退室)
事務局	●第3回審議会開催 資料確認
	●定数報告 出席者：10人 欠席者：2人 (上尾市男女共同参画推進条例「第17条2項の規定」により成立)
	●非公開内容の確認 非公開内容はなし 会議は公開
	●傍聴希望者の確認 傍聴希望者は1名
	●議事 第4次上尾市男女共同参画計画(案)について
サーベイリサーチセンター(SRC)	第4次上尾市男女共同参画計画(素案)の概要、第3次計画からの変更点について説明
委員	数値目標と施策の関連や数値目標の設定根拠等、経緯を掲載したほうが市民に上尾市の魅力をよりアピールできるのではないか。
事務局	資料6の最終ページに別紙として根拠等を掲載している。これらは概ね他の自治体等を参考にした。
委員	概要版4ページの指標一覧について、六点指摘したい。 一点目は、目標3の「企業人権研修会の実施」の目標値の「維持」が他より大きく見えて目立っていることである。また、現状維持を目標とすると「推進できない」といった印象を与えかねない。ここは「年1回以上」という表現にすれば維持の意味合いも持たせられるのではないか。 二点目は、目標1の「人権に関する講座や啓発活動の実施回数」の目標値が現状値の2.5倍となっていることである。これは予算等の情報を踏

	<p>まえた設定なのか教えてほしい。</p> <p>三点目は、目標4の「審議会等における女性委員の割合」についてである。所管課によっては該当者がいないといった状況もうかがえるため、目標達成に向けた各所管課の努力や協力がなく改善は難しいと感じる。</p> <p>四点目は、目標4の「消防団における女性の割合」の目標値についてである。ここは整数にするほうが見やすいのではないか。また、この数値目標を掲げることが男女共同参画社会の実現に向けた地域づくりにおいてどれだけ適切なものか疑問がある。女性の防災士資格取得者であれば避難所運営における女性の視点の反映等に生かされると思う。目標設定に工夫が必要と感じる。</p> <p>五点目は、目標4の「市役所における男性職員の育児休業等取得率」についてである。これは、市民の規範となるように掲げているものと考えているが、目標値の高さから市民に威圧感を与えかねない数値のようにも感じられる。民間企業では、「育休取得が昇進に影響がある」、「補填のための人材が不足している」といった市役所と異なる状況がある。ここは目標値を工夫していただきたい。</p> <p>六点目は、資料3と資料4で目標4の文言が異なることである。ここは修正していただきたい。</p>
事務局	<p>一点目について、フォントサイズの調整と目標値の表現をご指摘のとおり修正させていただく。</p> <p>二点目について、この目標値にはイベントだけでなく人権週間等の啓発活動の実施も含まれている。</p> <p>三点目について、審議会等における女性委員の割合はご指摘のとおり何らかの取組を進めないと目標達成は難しいと感じている。令和7年度には目標を達成していない部署へのヒアリングを実施したことで所管課に働きかけられたと手ごたえを感じている。</p> <p>四点目について、今回の目標は消防総務課と協議の上で決定している。上尾市の消防団における女性の割合は全国と比べて高くなっているため、2倍に設定した。第3次計画では女性の防災士資格取得者数を目標値に掲げていたが、数値が思うように伸びず、検討した結果今回差し替えを行っている。</p> <p>五点目について、市役所職員が積極的に育児休業を取得することが市民に向けたメッセージになると考え設定している。</p> <p>六点目については、ご指摘のとおり、正しい文言に修正いたします。</p>
会長	<p>市役所の男性職員の育児休業取得について、民間企業には市役所の高い取得率を目指してもらいたいことに鑑みると、現在の働きかけで問題ないと思う。また、啓発活動の数は多いほうが好ましいものの、市役所のリソースも限られているため、目標に向かって取組を進めながら、市役所職員のワーク・ライフ・バランスを守る方法を工夫してほしい。</p>
委員	<p>目標4の「地域」と「環境」が混在している。正しいほうに統一していただきたい。</p>

SRC	正しくは「地域」であるため「地域」に統一する。
委員	素案 27 ページの「上尾市男女共同参画推進者登録制度」について、実効性のある取組と感じる。今後の見通しを教えてください。
事務局	令和7年度は、3件の申請に対し各団体に5万円の予算を配分して男女共同参画の取組を進めていただいている。2団体が講座を実施、1団体が不登校問題と絡めてイベントを行ったと報告があった。登録件数は伸びていない状況だが、市役所で実施できる事業にも限りがあるため、広がりがあると考えられるこの制度の浸透に向けて、周知啓発を次年度以降強化していきたい。
委員	素案 52 ページの5の前に「施策」が抜けている。
事務局	修正する。
委員	パブリックコメントが今回0件だが、これは一般的な件数なのか。
事務局	現行計画である第3次の際は1件、直近で実施した市の総合計画に対するパブリックコメントでは2名から4件の意見をいただいた。そのため、沢山ご意見が寄せられるわけではないといった印象である。
委員	目標値の割合を算出する際の母数の基準はどこか。5年間で母数の変動が考えられるため、どのように算出するのか教えていただきたい。
事務局	5年後の目標値についても、その時点の母数での算出を想定している。母数の変動によって数値が影響を受ける可能性もあると思うが、どの時点を基準にするかについては今後検討を進めたい。
委員	素案の42頁、施策3の「メディアにおける人権尊重の推進」について、積極的な印象が受けられず、現在の施策では不足していると感じる。また、43頁の施策4は生徒指導主任会議にしか触れられておらず、施策として物足りなさを感じる。
事務局	手引きの更新等を行っているが、事業概要の表現や事業の精査等、今後改めて検討したい。教育については担当課から報告をもらっており、令和6年度については2回実施できた。対象は全小・中学校となっており、標語の募集や優良作品のポスター化等を行っている。現時点の施策は以上である。
委員	SNSを活用し、配信数やフォロワー数等何らかの目標設定をすることで時代に合った取組ができるのではないか。
事務局	SNSは現在フェイスブックとXを運用している。特に目標を定めていないため、今後SNSを活用した取組を検討したい。

会長	若年層はほとんどフェイスブックを利用していないと思う。また、若年層へのアプローチを検討する場合、長文だとあまり読まれないことや、Xや Instagram、動画系サイトの活用を考慮する必要があると思う。
職務代理人	●閉会挨拶
事務局	以上を持ちまして、上尾市男女共同参画審議会 令和7年度第3回会議を終了します。ありがとうございました。